

(Translation)

Dispatch Number: 097315

Dispatch Date: March 14, 2006

NCTIFICATION OF REASONS FOR REFUSAL

Patent Application Number: 2002-010030

Drafting Date: March 6, 2006

Examiner of the Patent Office: Tatsuya YAMAZAKI 8121 5D00

Agent: Mochitoshi WATANABE and 2 others

Article(s) Applied: Japanese Patent Law Sections 29(2), 36 and 37

(Translation Omitted)

The list of cited documents etc.

1. US 3,488,016 B
2. JP 50-014516 Y
3. Japanese Utility Model Application No. 53-087582
(JP 55-007132 U)
4. JP 54-053511 A

拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願2002-010030
起案日	平成18年 3月 6日
特許庁審査官	山崎 達也 8121 5D00
特許出願人代理人	渡辺 望稔(外 2名) 様
適用条文	第29条第2項、第36条、第37条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

1. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

- ・請求項 1～2、9～14
- ・刊行物 1～4
- ・備 考

刊行物1～3には、本願の請求項1および2のものとはほぼ同じものが記載されている。更に、刊行物4には、磁気テープ引出口を、カートリッジケースの側面で、カートリッジケースの隅部でないところに設けることが記載されている、そして、カートリッジケースの側面における磁気テープ引出口の設置位置を、カートリッジケースの隅部でないところのどことするかは、当業者が適宜選択しうることである。

2. この出願は、特許請求の範囲の記載が下記の点で、特許法第36条第6項第1号に規定する要件を満たしていない。

記

請求項4において、「両者の相対的な移動を防止する」ことは、発明の詳細な説明に記載されていない。(発明の詳細な説明には、回動防止について記載されているにすぎない。)

よって、請求項4に係る発明は、発明の詳細な説明に記載したものでない。

3. この出願は、特許請求の範囲の記載が下記の点で、特許法第36条第6項第2号に規定する要件を満たしていない。

記

請求項5において、移動防止手段の構成が不明である。（「移動防止手段も、前記リールの自重およびこれに巻装されている前記磁気テープの重さにより作用するものである」とはどのような構成をいうのか不明。）

よって、請求項5に係る発明は明確でない。

4. この出願は、下記の点で特許法第37条に規定する要件を満たしていない。

記

請求項12～14に記載された発明が請求項1～8に記載された発明に対して有する関係は、特許法37条第1項各号で規定する要件のいずれにも該当しない。

この拒絶理由通知書中で指摘した請求項以外の請求項に係る発明については、現時点では、拒絶の理由を発見しない。拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

引用文献等一覧

1. 米国特許第03488016号明細書
2. 実公昭50-014516号公報
3. 実願昭53-087582号（実開昭55-007132号）のマイクロフィルム
4. 特開昭54-053511号公報

先行技術文献調査の記録

・調査した分野 I P C G 1 1 B 2 3 / 1 0 7